

使用レジストレーションメニュー

4 -02-30:ポップアコーディオン

プリセット Preset

	ボイスディスプレイ ◀1▶	ボイスディスプレイ ▶2▶	リズム	フットスイッチ(LEFT)	
	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アコーディオン 2 <input type="checkbox"/> ON リード1 : ノンアルト 2 <input type="checkbox"/> OFF 下鍵盤1 : S-N#*2- 1 <input type="checkbox"/> ON ペダル1 : アコ*ス 1 <input type="checkbox"/> ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : アコーディオン 2 <input type="checkbox"/> ON リード2 : S-N#*2- 2 <input type="checkbox"/> OFF 下鍵盤2 : アコーディオン 3 <input type="checkbox"/> OFF ペダル2 : ノン*2- 3 <input type="checkbox"/> OFF	ラテン: 32:キタールバ メイン/フィルイン C	メイン A	テンポ=189

レジスト作成 Making Registration

 =変更なし

	ボイスディスプレイ ◀1▶	ボイスディスプレイ ▶2▶	リズム	フットスイッチ(LEFT)	
M1				メイン C	
M2	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アコーディオン 2 <input type="checkbox"/> OFF リード1 : ノンアルト 2 <input type="checkbox"/> ON 下鍵盤1 : S-N#*2- 1 <input type="checkbox"/> ON ペダル1 : アコ*ス 1 <input type="checkbox"/> ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : アコーディオン 2 <input type="checkbox"/> OFF リード2 : S-N#*2- 2 <input type="checkbox"/> ON 下鍵盤2 : アコーディオン 3 <input type="checkbox"/> OFF ペダル2 : ノン*2- 3 <input type="checkbox"/> OFF	※ Let's Try! フィルインメモリー: C(点滅)		
M3	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アコーディオン 2 <input type="checkbox"/> OFF リード1 : ノンアルト 2 <input type="checkbox"/> OFF 下鍵盤1 : S-N#*2- 1 <input type="checkbox"/> ON ペダル1 : アコ*ス 1 <input type="checkbox"/> ON		B(点灯)		
M4	M1 から変更		フィルインメモリー: C(点滅)	ブレイク	
M5		ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : アコーディオン 2 <input type="checkbox"/> ON リード2 : S-N#*2- 2 <input type="checkbox"/> OFF 下鍵盤2 : アコーディオン 3 <input type="checkbox"/> ON ペダル2 : ノン*2- 3 <input type="checkbox"/> OFF	C(点灯)	メイン D	
M6	ボイスディスプレイ ◀1▶ 上鍵盤1 : アコーディオン 2 <input type="checkbox"/> ON リード1 : ノンアルト 2 <input type="checkbox"/> ON 下鍵盤1 : S-N#*2- 1 <input type="checkbox"/> ON ペダル1 : アコ*ス 1 <input type="checkbox"/> ON	ボイスディスプレイ ▶2▶ 上鍵盤2 : アコーディオン 2 <input type="checkbox"/> ON リード2 : S-N#*2- 2 <input type="checkbox"/> ON 下鍵盤2 : アコーディオン 3 <input type="checkbox"/> ON ペダル2 : ノン*2- 3 <input type="checkbox"/> OFF	D(点灯)	エンディング 3	

Let's Try! “フィルインメモリー”を設定する。

手順 ① パネルのメイン/フィルイン [C] ボタンを押し点滅させる。 ② この状態でM2にメモリーする。

フィルインメモリーとは、リズムの設定をフィルイン(点滅)の状態メモリーすることです。この設定をすると、フィルインの発音中に、レジストメモリーチェンジをしてもフィルインが途切れず、リズムがスムーズに繋がります。

アレンジのジャンル 程よい速さのラテンのリズムに、小気味よくアコーディオンやギターが旋律を奏でるスタイルに仕上げました。

演奏上のポイント U.K.は同じメロディーでも、セクションによってオクターブ(高さ)が異なる箇所がありますので、譜読みに注意してください。〈C〉のギターソロは、I.T.(イニシャルタッチ)で、「出す音」「引っ込める音」の差を自由につけて、ギターらしさを表現してみるとよいでしょう。

日下将太郎